

2026 年 5 月 1 日

第 1 回 [5/27 (水) 17 時開催]は

「地域における建築の未来」 ～里山工学ゼミナール 2026 (全 7 回)～

高知工科大学システム工学群では、地域の専門家の協力を得ながら里山工学に取り組んでいます。今年度も、独自の目線で里山と向き合うさまざまな分野の専門家・研究者らを招いて里山工学ゼミナールを開催します。

本ゼミナールは、司会が当日のディスカッションの狙いを説明した後、登壇者による最新の活動状況をご紹介いただき、来場者の皆さんと共に、未来の里山について議論したいと思います。

なお、今年度は、香美市立図書館かみーるにて開催します。

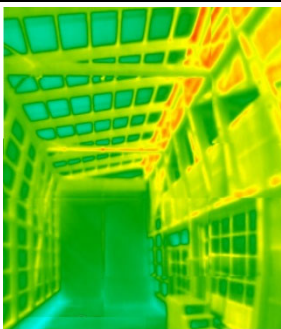
【第 1 回 登壇者】



話題提供 1 : 「地球を体感するパッシブハウス」と「四季ある家+」

渡辺 菊真 (地球-地域建築家、高知工科大学)

太陽や風の恵みを活かしつつ「地球を体感」できるパッシブハウスの追求を重ねています。それに加えて高知にて四季を感じる古民家改修に「何か」をプラスして作り上げる「古くて新しい民家」の構築をはじめました。双方が重なる時、地域家屋の新たな未来が開けるかもしれません。



話題提供 2 : “居心地”の良い空間を拡張する未来

佐藤 理人 (室内環境専門家、高知工科大学)

登壇者から一言： 夏を旨とした日本古来の建築・住まい方と、閉じた空間で空調する現代的な建築・住まい方をいかに活かし、新たな建築・住まい方へとつなげるのか。温熱環境とともに地域の持つ豊かな環境とつながることで、“居心地”の良い空間を拡張するための新たな取り組みについて紹介します。



話題提供 3 : 里山と建築

梅原 佑司 (風景社、高知工科大学)

里山の風景は、自然と人の暮らしが長い年月をかけて共に形づくってきたものです。

里山の資源を活かし、持続可能な暮らしを支える建築の役割とは何か。

風景社として地域に根ざした新しい拠点づくりの取り組みを通して、自然と共にある建築の可能性についてお話しします。

里山工学ゼミナール 2026 第 1 回「地域における建築の未来」

開催日時： 5月27日（水） 17:00-18:30

会場： 香美市立図書館かみーる つながるーむ（香美市土佐山田町楠目 736）

参加費： 無料

申込： 不要（会場へ直接お越しください）

※駐車台数に限りがあるため、できるだけ徒歩や自転車、公共交通機関での来場にご協力ください。
お車の場合は、図書館東側の第 2 駐車場をご利用ください。

主催： 高知工科大学システム工学群

共催： 香美市立図書館かみーる

▶次回以降の予定とテーマ/登壇者

第 2 回：6月24日（水）「地域文化の継承」

玄番 真紀子氏（太布織伝承者）

楠瀬 慶太氏（地域文化資源研究家）

第 3 回：7月29日（水）「持続的な食文化」

百田 美知氏（食文化研究家）

松原 浩二氏（松原ミート）

第 4 回：10月28日（水）「地域の共同体」

岡田 弘菜氏（YOKAPRO）

岩間 由奈氏（しあわせみかん山）

第 5 回：11月25日（水）「自然環境の整え方」

山本 貴仁氏（西条自然学校）

西山 穂氏（近自然工法専門家）

第 6 回：12月23日（水）「歴史的価値の認識」

渡部 淳氏（高知城歴史博物館）

吉成 承三氏（高知県埋蔵文化財センター）

第 7 回：1月27日（水）「里山研究フィールドでの活動報告」

高知工科大学 大学院生 学生グループ

取材をご希望の場合は

5月26日(火)17:00 までに

広報課へご連絡ください

高知工科大学広報課 渡瀬・前田

TEL:0887-53-1080

E-mail:kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp